



大谷中学校だより かがやき



小山市立大谷中学校
令和7年度 第1号
R7. 4. 21

★あいさつ

令和7年度、小山市立大谷中学校の校長となりましたR. Sです。伝統ある大谷中学校に赴任することができ、大変光栄に思っています。

新米校長であり、どれほどのことができるかわかりませんが、50名の教職員とともに子どもたちのよき成長のために頑張ります。よろしくお願いいたします。

★令和7年度「入学式」「対面式」

4月9日(水)、143名の新入生を迎えました。多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、そして2年生、3年生に見守られ、厳粛な入学式となりました。大谷中学校教職員と生徒一同、心より皆さんの入学を歓迎いたします。

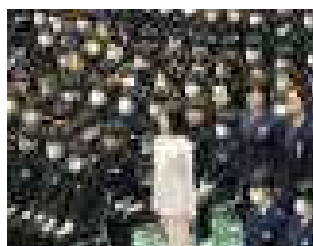
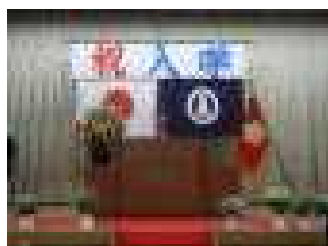
入学式式辞 ～抜粋～

百四十三名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。今、私は皆さん一人一人の返事を心を込めて聴きました。今日から中学生としての三年間が始まります。スタートラインに立つ皆さんの気持ちは、たくさんの楽しみな気持ちと、不安な気持ちが入り交じっているのではないかと思います。新しい友だちのことや、新しい授業のこと、様々な学校生活のこと、部活動のことなど。わくわくしたり、ドキドキしたり。しかし、不安な気持ちや、緊張する気持ちは、人が人として成長するために必要なことなのです。そして、皆さんの人生の先輩たちは皆同じ道を通ったのです。しかも、一人で歩く道ではありません。大谷中学校の先生たちはもちろんのこと、隣にいる友だち、皆さんの後に控える二、三年生の先輩たち、そしてその後ろから大谷中学校を見守ってくださり、一番の応援者である、皆さんの家族、さらに、来賓として会場にいらっしゃる方々、みんな、新入生の皆さんを様々な角度から様々な方法で応援してくださる人たちです。安心して頑張ってください。

私は皆さんに、中学校の三年間を、楽しく過ごしてほしい、そして、大谷中生であることに誇りをもってほしいと願っております。このあと二、三年生の先輩たちが披露してくれる大谷中学校校歌には「ああ大谷中わが学び舎」というフレーズがあります。誇りをもって「ああ大谷中わが学び舎」と歌えるようになってください。

本校は今年度、創立七十九周年を迎えます。およそ八十年前から先輩たちが築いてきたこの大谷中学校は、二、三年生の先輩たちがしっかり受け継ぎ、さらに成長させてくれています。まず、皆さんはその二、三年生にしっかりついて行ってください。そして、皆さん一人一人が、大谷中生として誇りをもって中学校生活を過ごしてください。そのためには、一日一日、勉強と運動、様々な行事など、どんな活動にも真剣に一生懸命取り組んでください。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。ご来賓の皆様、本日はお忙しい中誠にありがとうございます。役割は異なりますが、私たち学校と家庭と地域とが手を取り合い連携し、三位一体となって、家庭の宝、地域の宝である子どもたち一人一人を大切に育ててまいりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

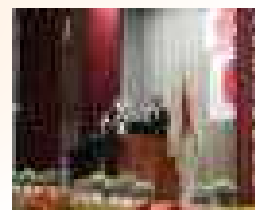


「入学式」新入生代表「誓いの言葉」

誓いの言葉 ～抜粋～

これから始まる中学校生活では、新しい出会いや小学校にはなかった学校行事などに胸が高鳴る一方で、大きな環境の変化や勉強と部活動の両立など、少し不安もあり、悩んだり立ち止まったりしてしまうことがあるかもしれません。そんな時は、先生方や先輩方、そして地域の皆様方からも、時には厳しく時には優しくご指導していただき、仲間とともに支えあいながら一歩ずつ前へ進んでいきます。そして、一度しかない中学校生活を悔いのないものにするために、今、何をすべきなのかを考え、中学生としての自覚と責任をもち、勉強や部活動などに全力で取り組んでいきます。

私たち新入生は、3年間の中学校生活の中で、たくさんの出会いを大切にし、仲間との絆を深め、ともに成長していくことを誓います。



「対面式」新入生代表あいさつ輝

(2、3年生との)対面式 ～抜粋～

先月、私たちは小学校を卒業しました。そして、今日からはこの新たな門をくぐり、大谷中学校の生徒となりました。校長先生をはじめ、多くの皆様からお祝い、励ましの言葉をいただき、中学校生活を悔いのないものにしようと改めて感じました。

今までとは違った新しい生活には、不安な気持ちを抱く反面、どんなことが待っているだろうと心を弾ませています。中学校では、新しい友達との出会いを楽しみにしています。一方で、勉強と部活動の両立は難しいのではないかと考えています。今まで以上に時間の使い方を工夫して行動できるようにしていくことが大切だと考えています。それでも立ち止まってしまうことがあるかもしれません。そのような時は、先生方や先輩方からのご助言を心に留め、前向きに頑張っていきます。そして、友達とともに助け合いながら、心に残る最高の思い出を作っていきたいです。

一度きりの中学校生活を悔いのないものにするために、普段から今は何をやるべきなのか、どうしたらよいのかを考え、中学生としての責任と自覚をもって頑張っていきたいです。

